



未知の創造という基盤

令和6年7月3日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

これらはすべての過去の起業家たちの夢である。そして彼らはメジャーとしての自己を今日有するのである。

これら偉大な挑戦は未来という現実の創造である。そして今日変化という時代においてこれらは現実なのである。

彼らの共有性は夢と挑戦である。そして彼らは未来を行ったのである。

また留意して考察する時、優れた理解が製品として現実を与えたことを理解すべきである。

また、意欲という自己基盤が、彼らはその現実を行うことを可能としたのである。

これらは自己現実の構築へ、企業の風土と環境においてアメリカの先端企業のそれを考察する時彼らの創造性の源泉を理解することができるのである。

これらは既存固定化する現実と環境は今日その滅亡を有することへの正しい考察である。

変化という時代における今日、変化を生き残るのは変化を行うもののみなのである。

これらが未知の創造という挑戦への肯定であり、これら企業風土は、これら現実を行うものなのである。

これら挑戦と飛躍は、新しいビジョンと目標が、未来を与えることができることを意味する。これらは、固定化した現実への保守性から、新しい創造性という企業風土への転換が、未来という現実と合致するのである。

これら既存現実の崩壊は、アメリカの挑戦という彼らの風土と国民性において今日完全な市場における真実なのである。

そのためこれらを否定することはできないのであり、それらへの理解が必要なのである。